

IRB番号「2020-GA-1163」

研究課題名「肝門部領域胆管癌に対する肝左三区域切除の安全性と有用性についての検討」

## 1. 研究の対象

西暦2006年1月1日から西暦2022年12月31日までががん研有明病院肝胆膵外科で、肝門部領域胆管癌に対し手術を施行された方

## 2. 研究の目的・方法

肝門部領域胆管癌は根治切除が長期生存を期待できる唯一の治療法で、2000年代になり尾状葉切除を含む肝葉切除、肝外胆管切除/再建が標準術式となり今日に至ります。肝切除術式として多くは右肝切除もしくは左肝切除が行われますが、腫瘍の進展範囲によってはその根治切除のため左右の肝三区域切除が必要となります。そのうち肝左三区域切除は難易度が高く、日本肝胆膵外科学会の多施設アンケート結果では術後90日手術関連死亡が10%と報告され、その安全性は確立されていません。当院で施行した肝左三区域切除と標準術式である右肝切除、左肝切除の周術期成績、長期予後を比較し、肝門部領域胆管癌に対し肝左三区域切除が標準術式としてなりうるかどうかを検討いたします。

## 3. 研究期間

承認日 ～ 2026年12月31日

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

下記の臨床情報を電子カルテより取得する。

- ① 臨床所見（年齢、性別、疾患、Bismuth 分類、胆道ドレナージの有無、門脈枝塞栓の有無）
- ② 血液所見（ICG 検査値）
- ③ 手術直前の予定残肝容量（%、mL）
- ④ 手術成績（手術時間、出血量、RCC 輸血有無、血管合併切除の有無、肝離断面積）
- ⑥ 術後成績（術後在院日数、合併症、90 日手術関連死亡）
- ⑦ 術後生存期間

## お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会有明病院  
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号  
研究責任者 肝・胆・膵外科 部長 高橋 祐  
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141

研究責任者：

公益財団法人 がん研究会有明病院  
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号  
研究責任者 肝・胆・膵外科 部長 高橋 祐  
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141